

読売新聞夕刊（平成27年3月26日）の「医療のページ／からだ」に、当院心臓血管外科で行っている「胸部大動脈」疾患の手術が《胸部大動脈の手術時間短縮・・・「軽度低体温」合併症も減る》として、紹介されました。

当院で行っているA型急性大動脈解離や胸部大動脈瘤に対する手術は従来の手術法と比べ、手術時間が全国平均の3分の1<sup>\*</sup>に短縮され、患者さんの負担が軽くなる術式です。胸部大動脈疾患に関しては、当院心臓血管外科をご受診ください。

※

- 急性大動脈解離／手術時間6～10時間（全国平均）→2時間20分（当院平均）  
手術死亡率（手術後30日以内）10%（全国平均）→3.3%（当院平均）
- 胸部（弓部）大動脈瘤／手術時間7～10時間（全国平均）→2時間40分（当院平均）

読売新聞の記事は会員制有料サイト「ヨミドクター」内の「医療大全」でご覧になれます。  
<http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/>（有料登録が必要です）